

# じんけんホットメール

## プライドセンター大阪

「プライドセンター大阪」へ行ってきました！

今回のじんけんホットメールでの訪問先は今年4月に開設されたプライドセンター大阪。

県内でも彦根市において「パートナーシップ宣誓制度」が導入されたり、大津市が「おおつレインボー宣言」を宣言するなど、LGBTQの方々への支援が進められてきています。

県内にもこのような施設ができればいいな、との思いから大阪の天満橋にあるプライドセンター大阪(以下、「センター」という。)を訪問し、担当者の方々のお話を聞きました。

訪問当日、記者の私は午前中、休みを取り映画「破戒」を観に行きました。あいにく滋賀県内では上映されていない映画だったので、京都まで観に行きました。センター訪問は14時だったので京都で途中下車をし、祇園囃子が響くむし暑さの中、汗をかきかき映画館へ向かいました。駅から徒歩5分とはあるものの、広い駅内と映画館のあるイオンの館内を歩きまわると結構大変です。

映画は見ごたえのある出来でした。被差別部落出身ということのを隠さなければ教師をつづけることの出来ない当時の部落差別の状況の中で、出自を隠し通すことのでらさを思うと、LGBTQの方々の現在のつらさを幾分でも想像できるのでは、と思いながら映画を観ました。

「破戒」は60年前にも市川崑監督で映画化され(驚くなかれ、74年前にも木下恵介監督でも映画化が!)ている作品。多分、中高年の方なら両監督の名前を覚えておられると思いますが、それ程有名な作品なのです。今回の作品は前2作が描き出した

差別の厳しさよりも、たとえ一人でも理解者(LGBTQの方々にとってはアライというのでしょうか?)の存在が大切なことが描き出されている良い作品だったと思います。

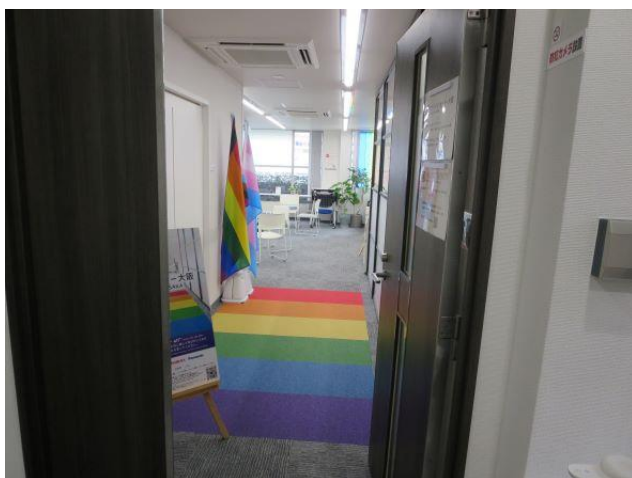
さて、映画の感動に浸りつつも14時の約束まで1時間余りしかないので、急いで映画館を出て大阪の天満橋まで向かうも、暑い中、飲みすぎた水が全部は汗とならず、途中、トイレ休憩を取ったりで、電車に乗り遅れまして、センターに到着が5分ほど遅れてしまいました。エレベーターを降りるとスタッフの方がドアを開けて、既にお待ちになっており、大変失礼なこととなってしまいました。

取材にはセンター運営担当の長野さん、広報担当の井上さんに応じていただきました。

まずはセンターの説明を長野さんからお聞きしました。



センターのドアを開けるとレインボーのカーペットが迎えてくれます。当事者の方が「安心できる場所がここにある」とのメッセージが込められています。



このセンターは、大阪の認定 NPO 法人虹色ダイバーシティが運営しています。センターの中にはオープンスペースが設けられており、LGBTQ だけでなく、その周囲の人、LGBTQ のことを学びたい人など誰でも無料で利用することができます。

4 月に開館してから 4 カ月ほどで 500 人以上の方が来られ、1 日平均 10 人ほどの利用者がいらっしゃるそうです。近畿地方を対象とされていますが、利用者は大阪府内の方が 6 割、あとは近隣府県の人。(ドア向かいには男女共用トイレがあり、着替えスペースを設けており、そこで着替えをして入ってこられる方にも対応しています。)

オープンスペースには LGBTQ の本や絵本を集めたミニ図書館、子どもさんも一緒に来られるよう、おもちゃや鳩時計が置かれています。

窓からは川と公園が見えます。夜になると窓上部のスクリーンに LGBTQ の象徴である6色のレインボーが映し出され、LGBTQ が社会の中で共に生きていること、安心してこられる場所であることを外にむけて発信しています。



相談室(予約制で専門の相談員が相談に応じてくれます。オンライン相談も可。)



ミニ図書館(関連図書のほか、マンガ、絵本など気軽に読める図書も・・・)



センターは大手企業の協賛や各国大使館の後援等を受け、運営されています。大阪府庁、大阪市役所等からも遠くなく、近くには仕事に関係する総合就業支援機関・団体もあり、地下鉄や京阪電車など交通アクセスも便利なところということでこの立地に決まりました。より安定的なセンター機能の維持のためにも、個人からの寄付は重要であることからクラウドファンディングなどで継続寄付を呼びかけておられます。多くのサポーターが集まることで行政からの支援にもつなげていきたい考えです。

Q. 滋賀県においてもパートナーシップ制度や支援宣言を行う市町が出てきていますが、学校や職場で LGBTQ の方々が表面に出てこられる事態を受け入れるにはどのような取組をすればよいでしょうか？

(センター井上さん)

やはり知っていただくという意味で研修は大切です。よく研修とかやっても「いやー、でもうちの職場にはいないからねー」とサラッとおっしゃる方もおられるんです。ある調査によると LGBTQ の方は人口の5%から10%程度いらっしゃるという結果が出ています。周りに言えないだけで必ずそういった方がいらっしゃるという前提で本とか映画とかTVドラマとかも観て身近に感じていた

だくことも良いと思います。

このセンターみたいにあちこちにシンボルとして 6 色のレインボーが貼ってあるんですが、よく支援者のことをアライと言いますが、わかりやすくレインボーマークを職場に貼ったり身に着けていただく。それぐらいしてやっとならば、支援したいと思っている人がここにいると LGBTQ の方にも伝わると思うので、そういったアピールも必要かな、と思います。

例えば淀川区では全国で初めて支援宣言をし、職員研修を進め、レインボーマークを掲げるなど性的マイノリティに関する正しい知識と理解を深め、少数者の人権を尊重したまちづくりを進められており、LGBTQ フレンドリーな環境になっています。

Q それはどうしたきっかけで始められたのですか。

(センター井上さん)

当時の淀川区長さんが国際親善で米国大阪・神戸総領事の方と会われ、その方が同性のパートナーと日本にいらっしやったということで、これえは人権課題として取り組まなければならないと講演会を行い、淀川区役所は 2013 年 9 月に全国で初めて行政として「LGBT 支援宣言」をされました。

Q やはりそうした取組はトップダウンでないとなかなか取り組めないのですね。

(センター井上さん)

そうではない場合もあります。札幌市も取組が進んでいるのですが、パートナーシップ制度導入にあたり意見募集をしたところ、否定的な意見が多数届いたそうです。しかし、そのことによって「当事者は本当にこういう偏見の中で暮らしているのだな」ということがわかったので、だからこそ制度が必要なんだと、ボトムアップで取組が進められました。

行政の方々は人権研修をかなりしておられるので、LGBTQ も一つの人権課題として認識していただければ取り組んでもらえると考えています。

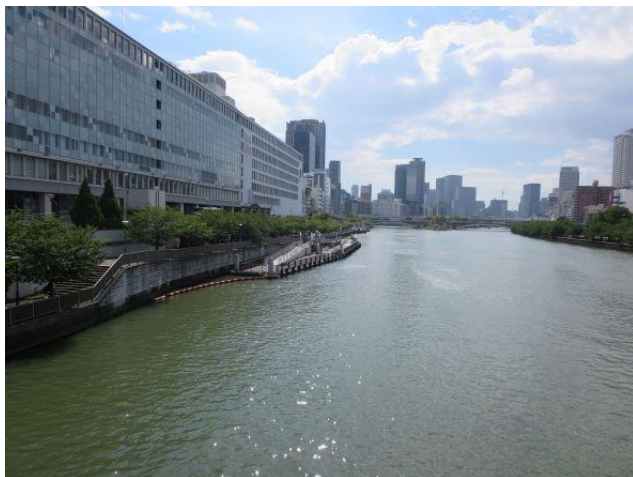
→部落差別に置き換えてみると、差別意識が見え隠れしている環境では「出自を隠さなければ」と思ってしまいますからね。周囲に差別意識が残っていれば LGBTQ の方々が人知れず悩みを募らせることとなってしまうんですね。となれば、こういった施設は地方にこそ必要なのではないでしょうか？

(センター長野さん)

その通りで、地方にこそセンターが必要ということで、ここで培ったノウハウを蓄積してロールモデル化していきたい。私も地方に居場所がないから大阪に出て来たが、地方に残りたくなくても残らざるを得ない方もおられ、地方にいる方々こそ LGBTQ の当事者は自分しかいないという思いにとらわれやすいので、

つながるきっかけが必要です。

今年の6月には天満橋から船でクルーズイベントが行われました。



(写真提供：認定 NPO 法人 虹色ダイバーシティ)

性的マイノリティの方々は幼少時から自覚されている方もおられますが、結婚してから気づくという方もおられ、そうした目覚めにとまどい、悩みを抱いている方が必ずいらっしゃいます。県内でも彦根市がパートナーシップ制度を導入したり、大津市が相談窓口を設置するなど少しずつ取組が進んでいます。

「男らしさ、女らしさから自らの偏見に気づく」、「高校の制服で男女別をなくす」など、研修テーマとして学習することは増えてきている一方、性的マイノリティを前面に押し出した取組はなかなか踏み出せないところなのですが、センターのお二方にお話を伺う中で、「関西弁を使い、大阪らしく親しみやすい取組

を進めています。大阪はいろいろな人を受け容れていく風土があり、ごちゃまぜ文化、そんな人もおってええんちゃう、やってみなはれという精神で取り組んでいます。」との言葉に勇気づけられました。

↓↓もっと詳しく知りたい方はぜひこちらをご覧ください。↓↓

[認定 NPO 法人 虹色ダイバーシティ | LGBT がいきいきと働ける職場づくりをサポートします \(nijiirodiversity.jp\)](http://nijiirodiversity.jp)

---

この「じんけんホットメール(施設紹介編)」は、滋賀県人権センターの賛助会員様を対象に、偶数月の中旬ごろに定期配信しております。今回は特別号として賛助会員以外の方にも配信しました。

これを機に、ぜひ、会員登録をお願いいたします。

今回、付近のグルメ情報はあえて紹介しません。何せ「食いだおれの都 大阪」ですしね。代わりに紹介するのは、JR の特定区間運賃。実際、往復の運賃を調べてみたら往路は 990 円なのに、復路は 1,170 円と 180 円も高かったのです。これは京都で映画を観たから京都-大阪間の特定区間運賃が適用されたのです。JR が私鉄に対抗するための格安の運賃設定を利用することで往復だと 360 円のお得になるのです。(もちろん、阪急を利用すると 800 円とさらにお安くなります。時間を気にせず鉄道旅行を楽しみたい方はどうぞ。)